

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	遺族会の意義とスタッフの振り返りの一致性に関する質的検討
研究責任者	リハビリテーション部 高田美帆
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026年10月31日
対象者	2024年4月から2026年3月までに当院で実施した遺族会における参加スタッフの振り返りコメントおよび遺族会運営記録(参加遺族の集団属性情報)
研究の意義・目的	本研究は、当院の遺族会の意義として示されている「遺族同士の語りと傾聴を通じた相互支援」により、「孤立感が和らぐ」「安心感や希望を得られる」「勇気づけられる」「社会の中で生きている実感を取り戻す」「感情を表出し気持ちを整理できる」といった支援機能が、遺族会におけるスタッフの振り返りコメントの中でどのように表現されているのかを明らかにすることを目的とします。さらに、遺族会の意義として示されている内容とスタッフの振り返りコメントに表現された内容との対応関係(一致性)を整理することで、遺族会運営および遺族支援の質向上に資する基礎資料を得るという意義があります。
研究の方法	本研究は後向き観察研究です。当院で実施した遺族会において、参加スタッフが記載した振り返りコメントおよび遺族会運営記録を対象とします。振り返りコメントについては内容分析を行い、遺族会の意義として示されている内容との対応関係を整理します。また、参加遺族の人数等の集団属性は運営記録に基づき記述統計として整理します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 リハビリテーション部 臨床心理室 高田美帆 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日